

仙人通信 167 九鬼山(970m)

九鬼山は都留市禾生駅の南・リニアモーターカーのトンネルが山腹を貫いている事で有名な2等三角点の山であり、山梨100名山・秀麗富岳12景の10番目の山でもある。

大月より国道139号線のリニア・鉄道のガードを潜り、落合橋の袂を左折し、レンガ作りの水路橋を潜った先にある5台ほど駐車ができる場所からのスタートである。

水路橋の手前を愛宕神社に向かい30m程進むと、右手に杉山林道と登山道を示す道標があり、檜林の中にV字状に掘られた杉山林道である。10分程で右手下に沢が現れ、5分程で沢を越え更に15分程すると左手の尾根に向かうコースとなる。檜林から赤松や水楡等の落葉樹の林の中を九十九折となり高度を上げて行く。足元では白い穂を付けたコウヤボウキが沢山見られる。視界が少し開けて高速道路の上に三つ峠や高川山が梢越しに望める。

更に進むと、西側の檜の上に白い富士山が梢越しに顔を出す。この林道には山頂を示す道標がほぼ100m間隔で設けられ、又危険なポイントにはロープが張られる等迷う事は無い。スタートから70分程で弥生峠だ。尾根道となるも赤松林で富士山は望めない。

右側には御正体山・二十六夜山、左側には高川山である。林は赤松からカラマツ林となり15分程で鈴ヶ音峠からの道と合流する。コースは北向きとなり、又もや何も見えない檜林である。10分程で木が伐り倒され、障害物の無い富士山が初めて顔を出す。コースは東向きとなり、5分程で山頂だ。山頂からは富士山が望めないとガイドブックにはあったが、ここも数本の檜が切り倒され、見事な富士山だ。その左手には御正体山や杓子山や二十六夜山である。一方北面は三つ峠から生藤山までが一望だ。雲もなくコンパスと地図を広げての一時である。大菩薩から連なる小金沢連峰や遠くに三頭山も確認出来た。その時、山頂のポストに登山者が自由に書込めるノートの管理をされている都留市にお住まいの方が登ってこられた。80回近くこの九鬼山に登っているとの事である。一方九鬼とは苗字や水軍で知られており、そこで山名の由来を尋ねてみたが……。残念！休憩後、大月に向かう尾根を進む。やがてロープの張られた痩せた岩尾根である。岩は白ぼいひん岩との事である。紺場休場と言う広い尾根になり、徐々に杉等の林となる。50分程で尾根から左へ別れる札金峠である。ここからは尾根を離れ田野倉駅方面を指す道標に従う。コースは沢の源頭をU字状に捲き進む。日蔭でもあり先日降った雪が残るも、アイゼンを付ける程でもない。札金沢のある方へ小尾根を捲くと目の前に富士山が又顔を出してくれた。更に檜林を10分程下ると札金沢の林道へ辿り着いた。更に林道を25分程で水路・桂川・踏切を過ぎ国道139号だ。ここからは国道沿いを歩き、落合橋のある駐車場へと辿り付いた。登山者3名と言う静かな山旅の出来た3時間25分(16000歩)でした。

(H28.12.19)

落合橋の先の水路橋



山頂



山頂からの富士山

